

縄文の工房

荒屋敷遺跡展

三島町にある荒屋敷遺跡は漆製品や編み組製品が多数出土したことから、全国的に注目を浴びています。

本企画展では荒屋敷遺跡の発掘当時の映像や、出土した繊維製品や漆製品、荒屋敷遺跡を芸術として撮影した篠原誠司「漆一地の記憶」などを展示いたします。



平成25年

11月2日(土) ~ 24日(日)

【会場】三島町交流センター山びこ

関連企画

体験

つなげて固める「漆の糸玉」
キーホルダーづくり

日時 平成25年11月9日(土)
午後1時~4時30分 (最終受付:午後4時)

講座

縄文の工房 荒屋敷遺跡
—その発掘秘話と縄文編み組細工—

日時 平成25年11月16日(土)
午後1時30分~3時30分

■開館時間 午前9時~午後5時 (入館午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日、祝日の翌日 (月曜が祝日の時、火・水) 【会期中の休館日:11月5日(火)、6日(水)、11日(日)、18日(日)】

■観覧料 一般300円、高校生以下無料、町民無料

三島町交流センター山びこ

〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418 TEL. 0241-52-2165 FAX. 0241-52-2166 URL <http://www.yuruibata.jp/>

【主催】三島町、三島町教育委員会、三島町歴史文化基本構想推進委員会 【後援】福島県立博物館

篠原誠司 シツ チ キ オク 漆一地の記憶

篠原誠司氏 (写真家・足利市立美術館学芸員)

《略歴》 栃木県生まれ。1990年に沖縄県各地の御嶽を撮ることから写真家としての活動を始める。以降、東北、京都、出雲をはじめとして、日本各地の信仰や民俗学の対象となる場所をモノクロ写真で撮影。



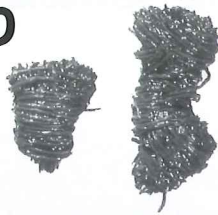
関連企画

体験 つなげて固める『漆の糸玉』キーホルダーづくり

日時 平成25年11月9日(土)
午後1時～4時30分
(最終受付：午後4時)

場所 三島町交流センター山びこ

所要時間 約1時間 ※未就学児童～小学校低学年のお子様は体験される際は、保護者の方も一緒にご参加ください



講師 いらはらみつみ氏 (漆造形家)

《略歴》 神奈川県鎌倉市育ち。東京藝術大学大学院美術研究科漆芸専攻修了。漆造形家。漆の持つ、ものを固める力に着目し表現をおこなっている。現在作家活動の他、美術講師、金継ぎ教室の主催など。

体験無料

講座 縄文の工房 荒屋敷遺跡 —その発掘秘話と縄文編み組細工—

日時 平成25年11月16日(土)
午後1時30分～3時30分

場所 三島町交流センター山びこ

演題 「荒屋敷遺跡と全国の縄文編み組細工」(佐々木由香氏)
「荒屋敷遺跡発掘秘話」(小松順太郎氏)

講師 佐々木 由香氏
(株式会社パレオ・ラボ 統括部長
早稲田大学文学学術院非常勤講師)

《略歴》 東京大学大学院にて博士号を取得(環境学)。専門は植物考古学。特に種実や木材、編組製品からみた縄文時代の植物資源利用について。著作に「本州および北海道の編組製品」「割裂き木部材・蔓・草の編み組み加工容器」など。



講師 小松 順太郎氏
(三島町文化財専門委員)

《略歴》 元三島町職員。教育委員会で文化財行政を担当し、荒屋敷遺跡発掘時には担当係長兼調査員。2006年より三島町文化財専門委員。故・小柴吉男氏との共著に『荒屋敷遺跡発掘秘話 漆と編み組の源流』など。



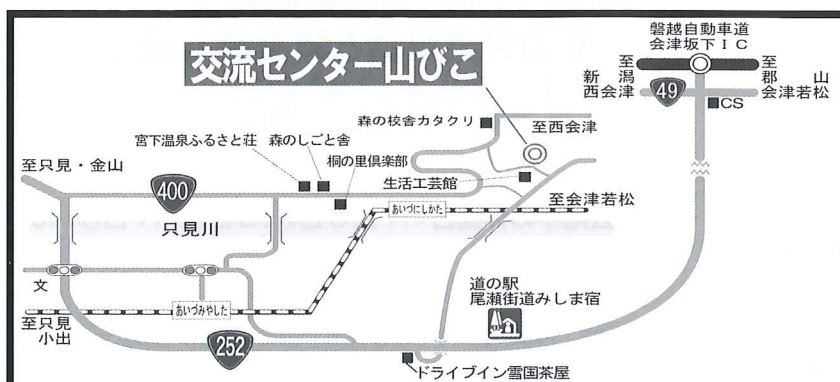
籠類



ペンガラ付着石皿



漆塗土器



《交通のご案内》

- 電車をご利用の方
郡山駅 ⇒ 磐越西線(65分) ⇒ 会津若松駅 ⇒ 只見線(90分) ⇒ 会津西方駅 ⇒ 徒歩(15分) ⇒ 山びこ
- お車でお越しの方
郡山JCT ⇒ 磐越自動車道(45分) ⇒ 会津坂下(ばんげ)IC ⇒ 国道252号(20分) ⇒ 山びこ